

新評論

2026
11
No.359

発行所 © 新評論 2026年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込



奈良県明日香村で「亀石」とツーショット。このあと、写真を撮らなかつた友人にだけ災いが…!

発表時に「面白すぎる」と評された還暦男2人の抱腹絶倒旅行記
新作映画公開に合わせて単行本化! 「昭和」を思う存分楽しもう

笑う巡礼者

うまやど
厩戸に呪われ、八つ墓村で崇られ

榎辺 勤

◆ジャンル: 紀行・エッセイ

同人誌の文章が新聞に取り上げられることなどまずないが、著者が自身の参加する同人誌に書いた旅行記が記者の目に止まり記事になった。

「これが大変な代物であった。還暦を過ぎたおじさん二人の旅行記に、私は床でひっくり返った甲虫さながら、手足をばたばたさせて笑い転げた。軽妙な文章のほぼ全編に、冗談がまぶされている。旅程とともに、書き手の個人史をもなぞるように文学や歴史、昭和のサブカル知識が、これでもかと開陳される。面白すぎる。」(『河北新報』二〇二四年三月八日夕刊「記者ログ」)

記事にあるように、本書はその同人誌に掲載された還暦過ぎのおじさん二人、著者と探偵小説マニアの友人が奈良、岡山方面を旅した珍道中の記録を単行本化したものだ。

道中の二人を不測の事態が次々と襲う。行きの夜行バスの車中では、まだ目的地に着いてもいないのに友人の足がつったり、奈良の明日香村では、友人が電動自転車に乗ったまま田圃に突っ込んだりした。老化が原因としか思えないそうした出来事を、二人は厩戸皇子(聖

徳太子)の「呪い」か、「八つ墓村」の「崇り」とみなして旅を続ける。

横溝正史が「八つ墓村」を書いた疎開宅までの道のりが、ウォーキングマップ上ではそれほどでもなさそうなのに実際には死ぬほど遠かったのも、ロードサイドの古本屋で掘り出し物の「チェーホフ全集」全一六巻を見つけて買うはめになったのも、すべて「崇り」のせいである。ローカル線の井原線では、予定している上り電車に乗り遅れないように時間を厳守しつつ、下りの電車でもこまで行けるかトライしてみろという、西村京太郎トラベルミステリーばりの突発的な事態も出現した。

旅行記のいたるところに昭和のサブカル知識が満載だが、そこで語り尽くせなかったことは、「クロスワードパズル」付きの短編小説(たぶん本邦初)「一九七三年の切手シート」として新たに採録された。

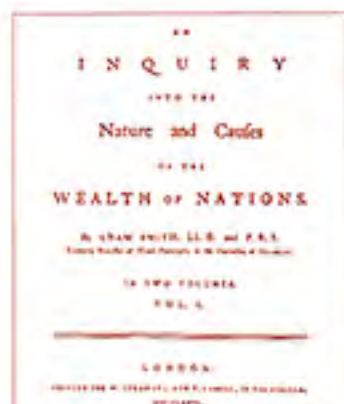
「昭和」は、こうやって味わい楽しむもの——本書はその実践例である。

(かしべ・ろく)

ISBN978-4-7948-1321-3 10月中旬刊

四六並製 二二二頁 予二四二〇円

著者 編集者・文筆家。小説に『小説 写真甲子園 0.5秒の夏』『三国志 33の英雄伝 上巻』、小説以外に『仮面ライダー「響鬼」の事情』『(死)からはじまるクラシック音楽入門』などがある。第6回仙台短編文学賞・河北新報社賞受賞。



『国富論』初版（1776年3月、ロンドン）のタイトルページ

『国富論』出版250年記念：地代論破綻説を覆し価値動態論を再評価する唯一無二のスミス体系読解にして卓抜な経済思想書

アダム・スミスの 生産力論

星野彰男

◆ジャンル：経済思想／社会思想

私見では『国富論』の二大論点は地代論と動態論にある。同地代論は長らく破綻視されたが、近年なし崩し的に同破綻説は消滅しつつある。今時それを言えば、大顰蹙を買うような空気感だ。これが解決すれば、自ずと『国富論』の価値論は整合化するから、その価値動態論が注目されるはずだが、未だそうならない。動態論をこのように理解しているのは一連の拙著だけである。私はこれを主題としてすでに三著（二〇〇二―一八）を刊行したが、今回、新評論から四著目を上梓する。同じく新評論から出した（件の三著以前の）二作品（初の単著と第二作）は主にスミスの道徳論を主題としたもので、スミス体系完結説を採った第一作（一九七六）は同門の先輩から酷評された。それは多分、当時の学界の空気を代弁した反応だったのだろう。しかし今はそれが逆転している。

当時はマルクスが未刊の「草稿」で披瀝した『国富論』地代論破綻説が通説だったが、それはスターリン主義下で同「草稿」が「資本論」第四巻」と偽称されたからだ。しかしその偽称は本国版

『マルクス・エンゲルス全集（略称MEGA）』（一九七七一）で断りなしに削除された。多分、当の偽称はスターリン批判（一九五六）によって解消されたと言いたいのだろう。先の拙著への酷評は梯子を外された形になり、それは学界総体にも当てはまる。ただその削除の件を誰も言わない。しかし自ずと気付かれてその空気が広がり、先の偽称に暗に従った近代経済学側もその空気感の変化を察知して、通説離れを起こしたと思われる。その理由はともかく、結果的にはこれは大いに歓迎すべきことだ。『国富論』の地代論が破綻していないのなら、その価値論体系は一貫する。しかも『国富論』は生産力による価値増加を説くから価値動態論になるが、同説を提起して来たのは拙著だけであり、本作はその完結版になる。この発想は恩師・高島善哉の説（一九四九―五〇）（一九九五）に由来し、先生はそれをマルクス理解に応用したが、私見は『国富論』理解にそれを適用する。（ほしの・あきお）

ISBN978-4-7948-1322-0

10月下旬刊

四六並製 予二七二頁 予三〇八〇円

著者 関東学院大学名誉教授。博士（社会学）。45年にわたり同大学経済学部で経済思想史・経済学史等を担当。2014年瑞宝中綬章受章。主著『アダム・スミスの思想像』（新評論、1976年）、『アダム・スミスの動態理論』（関東学院大学出版会、2018年）など。

ラーゴムが描く社会

鈴木賢志

「スウェーデンの『ちょうどよい』国づくり」何ごとにつけ「ほどほど」をよしとする哲学の奥深さに学ぶ。

『読売新聞』書評
ISBN978-4-7948-1291-0



現代を生きる北欧の先住民族

「サーメ」の若者たち

長谷川紀子

「北極圏と二風谷をめぐる旅」極北に生きる先住民族の若者たちが、気候危機に挑み共生の豊かさを問う。

好評刊
ISBN978-4-7948-1315-2



サーファーと環境の

エコロジー

宮澤優士

「二宮町におけるボロボロの連帯」サーファーの聖地で続く特殊な連帯を最新の生態学理論から探る試み。

好評刊
ISBN978-4-7948-1316-9



エコロジー階級の

登場についての覚書

ブルーノ・ラトウール＋ニコライ・シニョルツ

この新しい階級概念は、私たち一人ひとりの明日の姿を描いている。人間を大地にすぎ直す大いなる反転。

『読売新聞』書評
ISBN978-4-7948-1292-6



ちよつと自慢できる

京都の話

勝又郁子

「平安京創生館」で知る都」二二〇〇年の古都に平安京の姿を追いかめ、その魅力に移住者目線で綴る。

『月刊京都』紹介
ISBN978-4-7948-1293-3



かや

榎に魅せられて

黒葛原伸吉編著

「宮崎県綾町に生きる『現代の名工』熊須健二」聖地・綾町の幻の榎で魅せる、盤師の神業と執念に迫る一冊。

好評刊
ISBN978-4-7948-1312-1



市民目線で

「自殺」を考える

波名城翔

「マニュアルでは寄り添えない」寄り添う人の「声」に耳を傾け、共感と対話の予防策を提示する。

好評刊
ISBN978-4-7948-1305-3

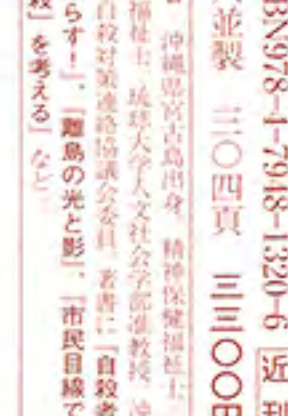


死の現場に立つ人々

波名城翔

「遺体のそばには「人」がいる」誰かがやらなければならぬ！その時、私たちにそれができるだろうか？ 現場の証言の中に「生を守る」術を探る迫真の記録。

ISBN978-4-7948-1320-6 近刊



問いをたずさえ 生きるために

畠山正文

〔臨床心理士がまなざす「答えのない教室」の可能性〕「答え」への執着を捨て、「問い」とともに生きる人生を切り拓くために！
四六並製 二〇八頁 二四二〇円



なんで学校は変なの？

津久井聖志

〔教員の父親に教育実習生の娘がストリートな質問！〕学校のおかしさの本質に迫りつつ解決策を模索する。
四六並製 二〇八頁 二四二〇円



問いチカラの本

佐藤賢一

〔問いをハックする、問いで学びを聞く〕「問いの力」をめぐる人々との対話と共創実践から生まれた「問いの技法大全」。
四六並製 二二二頁 二六四〇円



教室を変える 素晴らしい問い

EW・バーガー／平野貴美枝 訳

〔好奇心と問いの文化を育てる教室へ〕クエスチョナーになることで学びは変わる！米国発最新メソッドを丁寧に解説。
四六並製 二八〇頁 三三〇〇円



「考える教室」 をつくる

ピーター・リリヤード

梅木卓也 監訳／有澤和歌子 監修

〔授業はここまで変えられる〕生徒も教師も算数・数学が好きになる「答えのない教室」の理論的・実践的ルーツとノウハウ満載！
A5並製 三九二頁 四九五〇円



「新訂版」作家の時間

プロジェクト・ワークショップ 編

〔書く〕ことが好きになる教え方・学び方〔実践編〕作家としての悩み考え書く力を育む画期的な学びの実践集、待望の新版。
A5並製 二四〇頁 二七五〇円



教育現場の闇と光、 そしてエール

志麻克己

〔「晴れ上がり」の教育は訪れるのか〕教職の厳しい現状をありのまま伝えつつ、それでもなお輝く魅力とやりがいを探り下げる。
四六並製 二五六頁 二六四〇円



炊飯器で世界をめぐる 「ハテナ丼」の旅

佐藤賢一

〔大学教授が「問い」を炊いて世界を食べる〕「世界21地域×丼×炊飯器」という前代未聞の問いの実験が始まる！さあ、メシを炊こう！
四六並製 一七〇頁 二四二〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1314-5



『日本海新聞』紹介
ISBN978-4-7948-1309-1



鳥と詩人

ジョン・バロース／田中浩司 訳

〔自然と文学を愛する人たちへ〕

博物学の浩瀚な知識と奥深い思索によって「科学と詩」を結ぶ自然随筆の傑作。本邦初訳。

四六並製 四〇〇頁 四九五〇円

『私たちの自然』書評
ISBN978-4-7948-1308-4

マルグリット・デュラス

その愛の行方

佐藤浩子

失われゆく過去、内なる闇、狂おしい愛。没後30年を迎える世界的作家の創作の源泉に迫る本格文学研究。

四六並製 三三〇頁＋別冊四頁 三〇八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1296-4



ヴェイヨ・ロンツコネン

の生涯

ヴェイヨ・ロンツコネン／植村友香子 訳

ライオンランド・T.E.アートの世界 世界的な注目を集める唯一無二の彫刻庭園とT.E.アートの紹介する本邦初の美術案内！

B5変並製 一九〇頁＋別冊四頁 四四〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1317-6



アイルランドから東北へ

佐藤亨

〔周縁と漂着の詩学〕 文学・民俗・歴史をよすがに、詩学的世界と現実世界を横断する故郷論。

四六上製 三三〇頁 三九六〇円

『図書新聞』書評

ISBN978-4-7948-1287-2



一神教のラテンアメリカ

乗 浩子

〔ユダヤ教・キリスト教・イスラム教をめぐって〕 多様な信仰が入り交じる宗教的実態から緋く異色の中南米・カリブ社会史。

A5並製 二五六頁 三五二〇円

『ラテンアメリカ時報』紹介
ISBN978-4-7948-1299-5

異文化市場の解説法

川端基夫

〔意味づけ〕の国際比較 海外市場進出・インバウンド戦略の洗練に役立つ「意味づけ」に着目した画期的市場論。

四六並製 二二二頁＋別冊四頁 二七五〇円

『宣伝会議』紹介

ISBN978-4-7948-1304-6



福島県いわき市

関 満博

『いわき市市制施行60周年記念出版』炭鉱閉山、原発被災からの復興と新たな産業創造

A5上製 七二二頁＋別冊四頁 九九〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1311-4



地方財政調整制度史

中村稔彦

〔総額決定方法と配分方法〕 これまで解明されていない各制度内容の詳細や運営実態の全容解明に迫る！

A5上製 四〇四頁 六三八〇円

『自治総研』紹介

ISBN978-4-7948-1297-1



ポリーヌ・フェラーリ／ダコスタ吉村花子訳『女を憎めと教わった——SNSで拡がるマスキュリズムの闇』

SNSの中のミソジニー

■評者・田中東子（東京大学教授）

『沖縄タイムス』2026年6月27日他・計19紙（共同配信）

極めて刺激的なタイトルの本書は、交流サイト（SNS）

とマスキュリズムの思想がある」と指摘する。

の中でミソジニー（女性への憎

特に、10代の青年のふりをし

悪）とマスキュリズム（男性優

て作成したアカウントでイン

位主義）が猛威を振るっている

ターネットを回遊しているだ

現状を、ジャーナリストイック

で、自然と女性差別的なコン

な手法で観察し、論じたもので

テンツが続々と現れるように

ある。

なつたという実験には、背筋の

凍る思いがした。

これは、X（旧ツイッター）

日本ではあまり知られてこ

やユーチューブ、TikTok

なかったフランス社会におけ

（ティックトック）などのアル

るミソジニーの実態が赤裸々

ゴリズムが、若年男性たちにマ

に描かれる。学校で男の子たち

スキュリズムの思想を勧める

が、いかに女性差別的な言葉を

仕組みになつていゝことを暗

口にし、女性たちを品定めし、

に示している。男の子たちは、

モノのように扱っているのか。

著者はこうした言動の背景に、

SNSにまん延するミソジニー

インターネットにアクセスす

るたびに、受動的にこれらの思想にさらされてしまうのである。

同様の問題は世界中で起

ている。国際非政府組織の調査

によれば、若年女性の約6割が

ネット上で攻撃を受けた経験を

持つ。国連女性機関もデジタル

空間における女性への誹謗中

傷や憎悪表現の増加に警告を

発してきた。

日本でも、SNSにまん延す

るミソジニーに基づく発言、特

に女性の政治家や研究者、社会

活動家への猛烈な誹謗中傷が

社会問題として明るみに出る

ようになつた。

女を憎むよう男たちに教えるSNSの世界に対抗するため、本書はリアル世界での教育とケアの重要性を説く。特に、デジタルリテラシー教育を充実させ、社会の中に若者たちの居場所を確保する必要性を訴える。SNS時代における新たなジェンダー問題を考えるうえで重要な一冊である。

女を憎めと教わった

ポリーヌ・フェラーリ／ダコスタ吉村花子訳
『SNSで拡がるマスキュリズムの闇』 世界中で猛威をふるう男性優位主義と女性への暴力。SNSを通じたその拡散・増幅のメカニズムを読み解く。

四六並製 二八〇頁 二八六〇円



田中東子氏書評（共同配信）
ISBN978-4-7948-1306-0

本を売る

本との出会い

1996年、出版業界の売り上げがピークの年に生まれた私は、「若者の読書離れ」という言葉と共に大きくなりました。幸いなことに小説を読む親の影響で、周りの友人に比べると本を読む方でした。ですが非常に良くないことにそれを鼻にかけていました。小学校中学年くらい頃、ちゃんと理解できないながらも東野圭吾さんや宮部みゆきさんを読んでいました。それは良いのですが、教室の後ろにあった学級文庫を小ばかにしていたのは最悪でした。あの時ちゃんと、「まんが日本の歴史」を読んでいれば……と何度後悔したことか。美人局の読みも意味も分からずに先生に質問し、何の本を読んでいるんだと変な顔をされたことも覚えています。(先生は悩んだ後、親に聞きなさいと言いました。)

ではいつも貸し出し中。天邪鬼な私は当然スルーしていたのですが、たまたま4巻だけが棚に戻っている瞬間に遭遇し、試しに読んでみるか、と上から目線で読み始めました。いやー、おもしろかったです。気が付くとお年玉で全巻購入していました。何十回も読み返しました。後から振り返ると、この出会いが本当に読書にハマった瞬間でした。そして先入観は良くないと痛感した時でもあります。この出会いのおかげで今も本を読み続け、仕事では学校や公共図書館に本を販売しています。届ける先はもちろん今を生きる人々ですが、時々、あの頃の自分に本を届けているような気分になります。あの時の体験以来、本との出会いは運命だと思っています。本を売る立場になり、その運命は数えきれない人の手によって届けられていることを知りました。そして自分もその「手」の一員であることに誇りと責任を感じています。今日届けた本が、明日の誰かの運命の本かもしれない。そうだったらいいなと、願わずにはいられません。

図書館流通センター 菅原脩矢

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(6・21~6・28)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 6・21 ⑩広報ながれやま『答えのない教室』シリーズ
 6・27 ⑩沖縄タイムス『女を憎めと教わった』(田中東子)
 6・28 ⑩琉球新報・大分合同新聞『女を憎めと教わった』(田中東子)
 6月 ⑩JP通信(日本カトリック正

義と平和協議会ニュースレター)『野の女』『炎の女』(渡辺多喜子)
 ◎平和をつくるブックリスト(ふりつづみ天鼓堂+すいかのたね文庫)『動物と戦争』

[2025・9月号 ◎月刊致知『答えのない教室 パート2』]

好評刊
 ISBN978-4-7948-1313-8



答えのない教室
 パート3
 流山市立おおぐろの森中学校編
 『流山市立おおぐろの森中学校における全教科改革戦略』 流山全校で導入! 「考える力」を育む教育変革の書
 四六並製 二五六頁 二六四〇円

『ぐるっと流山』他紹介
 ISBN978-4-7948-1291-9



答えのない教室
 パート2
 池田吉久
 『流山市立おおぐろの森中学校での教育実践』 「考える力」を育み、子ども達をワクワクさせる授業の全貌。
 四六並製 二二〇頁 二四二〇円

本を読む

執筆開始、その前に

貴社刊『作家の時間』に出会って作文の愉しさに目覚め、書いてはあちこちに送っている折、本書を知りました。読んでみて気づかされました、自分が「悪文製造マシン」になっていたのだと。特に材料の面白さばかりに気が行って読み手を見据えていなかった！太宰治の引用「書き出しの巧い」というのは、その作者の「親切」であります」にガツンとやられました。感謝。

(三次市 下光博之 64歳)

スウェーデンにおける

野外保育のすべて

北欧の保育にずっと前から興味があり、森で自然にふれることの大切さを、この本を通して学ぶことができました。勤めている園では室内での保育が多く（夏は暑すぎて園庭にも出れず）子ども同士のトラブルも増えがちです。自然が身近にないのが最大の原因だと思っています。保育士も子どもも自然の中でリラックスできる環境下で遊びたいものです。（豊田市 保育士 金城邦江 63歳）

だれもが『科学者』になれる！
理科って本当は、もつと楽しく、そして探究心をもってやれるはず

と思い、この本を手に取りました。正直、全てをすぐに実践できるとは思いません。でも可能性は大いにあることがよくわかりました。

クエスチョンボードや発見ボックスによる日常からの問いの体験は子どもたちも楽しめるはずと感じました。また、貴社刊『宿題をハックする』にもあったように、「問い」をいろんな学びにつなげていけると思いました。

(豊橋市 教員 坂口肇 44歳)

好評刊

執筆開始、その前に

「悪文」を避けるための考え方
大倉章宏

スウェーデンにおける

野外保育のすべて

「森のふれ教室」を取り入れた保育実践
エーバ・エンクゴット・高見幸子・光橋登良
二六四〇円

だれもが

『科学者』になれる！

「探究力を育む理科の授業」
チャールズ・ピアス・門倉正美・白鳥信義・山崎敬人・吉田新一郎 訳
二六四〇円

動物と戦争

「真の非暴力へ、（軍事・動物産業）複合体に立ち向かう」
A・J・ノチェラ・二世・C・ソルター・J・K・C・ベントリー 編 井上太一 訳
三〇八〇円

編集部から

「還暦過ぎのおじさん二人」が右往左往する抱腹絶倒の珍道中記『笑う巡礼者』、『八つ墓村』の完全新作・二〇二六年版映画公開に勝手に合わせて刊行！河北新報記者が「面白すぎる」と太鼓判を押した必読の傑作旅行記・昭和サバカル満喫本です▼同じく10月刊『アダム・スミスの生産力論』は、高島善哉のアダム・スミス研究を継承した研究者によるライフワークの集大成。時々の党派的影響下で長らく曲訳・曲解されてきた『国富論』を精緻に読み直し、『道徳感情論』および未完の『法・統治論』と一体の壮大な価値体系像を探る渾身の経済・社会思想書です▼L・ローリー代表作『ギヴァー記憶を注ぐ者』11刷重版が決まりました！同著者最新作『903号棟』は年内刊行目標で進行しております。ご期待ください！

営業部から

- ▼直近3ヶ月（2026年5月17日）弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。
- ① 女を憎めと教わった
 - ② ギヴァー 記憶を注ぐ者
 - ③ 「考える教室」をつくる
 - ④ たった一つを変えるだけ
 - ⑤ 感情と社会性を育む学び（SEL）
 - ⑥ 答えのない教室
 - ⑦ 答えのない教室 パート3
 - ⑧ 虚構の「近代」
 - ⑨ 炊飯器で世界をめぐる
 - ⑩ 権に魅せられて 「ハテナ井」の旅
 - ⑪ 「NHKから国民を守る党」 とは何だったのか？
 - ⑫ エコロジー 階級の
 - ⑬ なんて学校は変なの？
 - ⑭ 鳥と詩人
 - ⑮ 教科書では学べない数学的思考

SBCC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ（一九九九年発足）は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付されたハガキもしくはポイント券を累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小冊子HPフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBCC発行の「入会確認証」をお送りいたします。